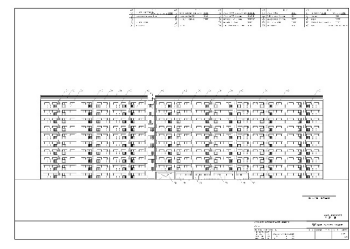


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	門真市宮門真千石西町住宅第3期	階数	地上10F
建設地	門真市千石西町252番の2の一部	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、法22	平均居住人員	556 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年10月 予定	評価の実施日	2019年1月11日
敷地面積	8,075 m <sup>2</sup>	作成者	ジャス 豊田
建築面積	1,357 m <sup>2</sup>	確認日	2019年1月12日
延床面積	9,380 m <sup>2</sup>	確認者	ジャス 加藤



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 52%  
③上記+②以外の 52%  
④上記+ 52%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**      **LR のスコア = 3.5**

項目	スコア
Q1 室内環境	3.1
Q2 サービス性能	2.5
Q3 室外環境(敷地内)	2.5
LR1 エネルギー	4.0
LR2 資源・マテリアル	2.7
LR3 敷地外環境	3.6

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなみ景観として、団地として統一感のあるデザインとし、団地として統一感のある沿道景観を形成します。また、東角は本団地のエントランスとなるため、団地の顔となるまちかどの形成を図ります。</li> <li>・設備配管は耐用性のあるものを採用するとともに、更新性に配慮した配管ルートを確認し適切に点検口等を設けます。</li> </ul>	0
<b>Q1 室内環境</b> ・照明は、エントランス及び廊下にて「ライティング」、メロナーに人感センサーを用いてエネルギーの削減に配慮します。 ・内装にはF☆☆☆☆を使用し、ホルムアルデヒド対応を行います。	<b>Q2 サービス性能</b> ・設備配管関係は、対応年数の長い材料を選定し、更新に配慮します。
<b>LR1 エネルギー</b> ・性能評価：断熱等性能 等級3を確保します。 ・住戸は専有部が外皮に2面以上面する配置とし、採光・通風に配慮します。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・ボリューム感の軽減など地域の景観や居住性に配慮した計画とします。 ・植栽(シンボルツリー)やベンチを配置することにより、まちかどにゆとり空間を創ります。
<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・節水型機器を使用し、水資源の保護に努めます。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・地球環境及び周辺環境に配慮した計画とします。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-147

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	門真市営門真千石西町住宅第3期新築工事 B3・B4棟						
	建設地	門真市千石西町252番の2の一部						
	用途/区分	集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						5	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						3	
④	エネルギー削減						5	
⑤	自然エネルギー直接利用						○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						対象外	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.9	5	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.0	3	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0	5	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	○	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	—	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項	・まちなみ景観として、団地として統一感のあるデザインとし、団地として統一感のある沿道景観を形成します。						